

WS 開催概要

日時：2017年2月19日(日) 10:00～12:00
場所：豊田市役所東庁舎7階大会議室
参加者：39名

座長：小林正美氏(明治大学副学長)
星野裕司氏(熊本大学大学院准教授)

つくるチーム：大藪善久、馬場睦(NSC)
熊谷玄、成富文香(stgk) 渡邊篤志(WAO)
番場俊宏、坂田旭(abanba)

つかうチーム：園田聡、岸本しおり(HBP)

運営：豊田市・日建設計シビル(NSC)

プログラム

- ①ご挨拶
- ②第3回WSの振り返り
- ③豊田市都心地区空間デザイン基本計画(素案)の説明・今後のスケジュール
- ④意見交換会
- ⑤アドバイザーよりコメント
- ⑥終了のご挨拶

今回のワークショップでは、前回ワークショップの振り返りの後、最新のプランと豊田市都心地区空間デザイン基本計画(素案)の説明を行いました。その後、座長の小林先生を中心に、①今までの計画の進め方について②各エリアのデザインについて③一般市民の方々の参加について④まち育て(エリマネ)の参画表明、の4点についての意見交換会を行い、来年度に向けての意識共有を図りました。

前回からの主なプラン修正点



⇒歩行者動線の検討や隣接建物所有者との調整を踏まえ、デッキ広場形状を見直しました



⇒バスターミナルや緑陰歩道からのつながりを意識したデザインに変更しました。



⇒挙母祭りの山車の動線や参合館前広場の活用を意識し、水盤や樹木位置を変更しました。



⇒緑化関係事業者の提案や山車の動線を考慮し、樹木やベンチの配置を変更しました。

意見交換会『4つの議論ポイント』

1. 今までの計画の進め方について
2. 各エリアのデザインについて
3. 一般市民の方々の参加について
4. まち育て（エリマネ）の参加表明

座長の小林先生より挙げられた、『4つの議論のポイント』を軸に、各ポイントについて参加者より積極的な意見をいただきました。
今年度最後のワークショップらしく、活発な意見交換会となりました。



【各エリアのデザインについて】

- ・人がたくさん示されているが、果たして豊田の人は道沿いで飲食するのか。というのもプロントの前に居座っている人が少なかった。デザイン面での工夫が求められる。
⇒各場面に椅子、テーブルが出たことは良いが、出ているだけなので、デザインしていく歩行空間との両立が必要。居心地のよい空間としないと誰も座らない。実証実験を重ねることによって計画をカスタマイズし、慣れていくことが必要。
- ・誰を対象としたデザイン案なのか。外から人を呼んでくるという姿勢が見えない。美術館やスタジアムとの繋がり、1日中この駅前にいるにはどうするか。
⇒まずは今都心地区を使っている人の利用時間を増やすことが第一だと考えている。今の利用者の居心地を最優先させることを考えている。外から呼ぶことだけが大事ではなく、まちを自分達の場所として使いこなすことを考えてほしい。(=イベントの誘発)
- ・(挙母祭りに関して) 時代によって回し方も変わってきている。これからフルモール化されると、駅前に車が入ってくるのが大変だし不便になりそう。
⇒都心の通過車両が問題になっている。バイパスなどの計画があるが、もっと大きな範囲で考えていくべき。どんどん実証実験を行っていききたい。
- ・マンション住人やお年寄りなどが外に出てくるだけでも成功である、皆の「庭」のような空間になれば誰が来ても良いところである。
- ・現在のバスターミナルはKKUK(暗い、汚い、うるさい、臭い)であるが、一新するとすごく変わる。

【今までの計画の進め方について】

- ・今までの進め方に不満はない、とてもよいと思う。

【一般市民の方々の参加について】

- ・これまでの過程を広く公開してほしい。ここへ来ている人以外にも広く発信したい。未来デザインセンターなども出来るのであれば、期待したい。
⇒今後検討を進めていくが、とよた未来デザインセンターでも情報公開していきます。

【まち育て（エリマネ）の参加表明】

- ・市民の意見を広く聞くというのはこれからも必要。計画を進めていく上で誰がどう関わっていくかが大事。駅前に出来るよた未来デザインセンターも期待している。
- ・自分たちも出来ることは情報発信していきたい。

【その他】

- ・昔のように「市駅に遊びに行くぞ」という感覚を取り戻したい。

参加者からの意見

※黒文字は市民意見、赤文字は小林先生とつくるチームの回答

豊田市都心地区空間デザイン基本計画（素案） 目次構成

第一部 プラン	第1章 とよたの都心の未来	第3章 新しいとよたの都心デザイン
	1-1 ステートメント/理念	3-1 矢作口と毘森口(やはぎぐちとひもりぐち)
	1-2 豊田市都心地区空間デザイン基本計画が思い描く未来	3-2 広場のデザインイメージ
	第2章 「カスタマイズとよた!」でつくる新しいとよたの都心	3-3 アーバンファニチャーのデザインイメージ
	2-1 市民参加によるデザイン決定プロセス	第4章 ロードマップ
	2-2 「カスタマイズとよた!」の8つのポイント	4-1 今後のスケジュールと段階整備

まとめ

【星野先生】

今日のWSは市民から色々な意見が出てきて良かった。今年度はあくまで総論。来年度からは、公共空間を使いこなすためにも、来年度以降の実証実験の中で、つかう側のトレーニングをしていくことが必要。

【つくるチーム】

引き続き実験や市民WS、シンポジウムなどもやっていくので、広く参加してほしい。
今日、初めて来た人はもっと周りに呼びかけをお願いします!

【つかうチーム】

これからも使うものを作っていく。計画として色がついていないところも連携して考えていくまちを目指したい。

